（案）

令和８年９月　日

長野市議会議長　　若　林　　祥　　様

議会活性化検討委員会2023

委員長　寺沢　さゆり

議会活性化について（第３回中間答申）

令和５年12月15日に貴職から諮問を受けました本市議会の活性化に関する検討項目のうち、聴覚障害者等への合理的配慮について検討を重ねた結果、別紙のとおり集約しましたので、ここに答申します。

１　第３回中間答申に当たって

長野市議会は、各会派等（無所属議員を含む。）から寄せられた議会活性化に関する項目を検討する組織として、令和５年11月21日に議会活性化検討委員会2023（以下「検討委員会」という。）を設置しました。

検討委員会では、令和５年12月15日に議長から諮問を受け、活性化検討項目のうち、聴覚障害者等への合理的配慮について検討を進めてきました。今回の中間答申は、これまで協議、検討してきた結果を取りまとめたものであることから、中間答申に沿った形で実施されるよう求めるものであります。

２　第３回中間答申について

(1) 自動音声認識システムを活用した字幕表示モニターについて

①　検討結果

令和８年６月定例会及び９月定例会の本会議において、自動音声認識システムを活用した字幕表示モニターを試験的に導入し、傍聴者へのアンケートを実施したところ、概ね好意的な評価が得られました。（資料01参照）

一方、実際に聴覚障害のある方に字幕表示を見ていただき、意見を聴取したところ、「全ての文字を目で追うことは負担である。」といった意見もあり、字幕表示が全ての聴覚障害者にとって、最適な情報保障となるものではないことも確認されました。

しかしながら、自動音声認識システムによる字幕表示は、聴覚障害者のみならず、聴力が低下した方や、発言を聞き逃した方が内容を確認するための補助的な手段としても有用であり、実施したアンケート結果でも導入を望む声が多かったことから、議会における情報アクセシビリティの向上に資するものと考えます。

② 答申

以上のことから、本委員会としては、次のとおり取り組むことが適当であると判断します。

ア　自動音声認識システムによる字幕表示モニターを導入すること。

議会傍聴における情報保障の充実を図るため、議場に自動音声認識システムによる字幕表示モニターを導入し、聴覚障害者をはじめ、幅広い傍聴者が議会の発言内容を把握できる環境を整備すること。

イ　現在実施している要約筆記サービスを継続すること。

自動音声認識による字幕表示と要約筆記は、それぞれに特性があり、字幕を目で追うことに負担を感じる方や、要約された情報を必要とする方もいることから、字幕表示は選択肢の拡充として位置付けること。

ウ　利用者の意見を踏まえ、導入後も必要な改善を行うこと。

字幕の表示方法、文字の大きさ、表示速度、モニターの位置等について、実際の利用者の意見を聴取しながら検証を行い、必要に応じて改善を図ること。

３　審議経過

議会活性化検討項目のうち、議会の情報発信に関し、中間答申に至る審議経過については、以下のとおり。

番号	年　月　日	説　　明
(1)	令和７年５月26日	・聴覚障害者等への合理的配慮について、今後、協議を行っていくことを決定
(2)	令和７年８月14日	・検討すべき組織、具体的な方法などについて協議

(3)	令和８年２月13日	・広報広聴委員会との懇談会を経て、具体的な方法や対応について協議
(4)	令和８年５月11日	・６月定例会における字幕表示モニターの試行について決定
(5)	令和８年７月７日	・６月定例会字幕表示モニターの検証について
(6)	令和８年８月20日	・９月定例会における字幕表示モニターの試行について決定
(7)	令和８年９月25日	・９月定例会字幕表示モニターの検証について ・中間答申（案）の確認
(8)	令和８年９月29日	・中間答申

４　議会活性化検討委員会2023委員名簿

委 員 長　　寺沢さゆり（新友会）

副委員長　　堀内　伸悟（公明党）

委　　員　　黒沢　清一（日本共産党）

委　　員　　東方みゆき（改革ながの市民ネット）

委　　員　　内藤　武道（次世代長野）

委　　員　　山﨑　昭夫（無所属）

委　　員　　青木　敏明（新友会）

委　　員　　桜井　　篤（新友会）

委　　員　　市川　和彦（新友会）（令和８年２月12日まで）

委　　員　　手塚　秀樹（新友会）（令和８年２月13日から）